

保護者様

ともに
学び
ともに生きる



「いのちの日 人権学習」だより

「1学期ふり返り」

令和8年10月9日

京都市立朱雀第三小学校
校長 橋本 堅吾
人権教育部

みんなで
つくる
やさしい学校

今年度も一年の折り返しにさしかかってきました。学習や生活のふり返りをする中で、自分たちで決めた「人権行動目標」についてもふり返りました。「自分を大切にできたかな」「相手を大切にできたかな」と、それぞれの人権行動目標の視点から考えました。子どもたちの感想には、「あいさつができるようになった」ということや「困っている人に進んで声をかけることができた」ということが多く見られました。今後も、継続できるといいと思います。ご家庭でも、人権行動目標についても話題にあげてみてください。よろしくお願いいたします。

一人ひとりが
たいせつな
存在です

くすのき

人権行動目標

あいさつ いっぱい
えがお いっぱい
ともだち いっぱい

- 毎朝、校長先生やいろいろな先生にあいさつをすることができた。
- 自分から先にあいさつをするように心がけた。
- 初めはドキドキしたけど、新しい1年生とも仲良くなって友達になった。



1年

人権行動目標

～ともだちのことを かんがえて
えがおになる
ことばをつたえよう～

- 誰かがけがをしたら「大丈夫」と声をかけることができた。
- 友達が逆上がりができた時に「すごいね。」と声をかけた。
- 友達が手伝ってくれた時に「ありがとう。」と伝えることができた。



2年

人権行動目標

～なかまや やくそくを
たいせつにする
ヒーローに なろう!!～

- 学校のルールを守れていない人に、やさしく声をかけることができた。
- 友達が1人の時に「一緒に鬼ごっこしよう。」と言って遊ぶことができて楽しかった。
- 給食台の準備の仕方がわからずに困っているときに一緒にやって、教えることができた。



3年

人権行動目標

プラスの声を
かけあおう

- 授業中に発言しても、友達がしっかりと聞いてくれたので、たくさん発表することができた。
- 「大丈夫?」「ありがとう!」「手伝おうか?」などたくさんのプラスの言葉をかけあうことができた。
- プラスの言葉をかけてもらって温かい気持ちになって、自分も友だちにプラスの言葉を伝えることができた。



4年

人権行動目標

さいごまで 顔を見て
はんのうして きこう!

- 相手の話を最後まで聞いて、相手がどんな気持ちになるのかを考えて行動することができた。
- 相手の話に反応を返すために、ハンドサインを出して伝えるようにした。これからはもっと、反応することを意識して聞くようにしたい。
- 「いいね」や「同じ意見です」と伝えられた。これからは短い言葉で自分の思いを付け足しながら発表したい。



5年

人権行動目標

～Heartで考え、Actionしよう～

- 自分が発言する前に「これは言っているのかな、これを言った後どうなるのかな」とあとさきを考えて発言するようにして、相手を不快にさせないようにした。
- 「これをしたら他の人に迷惑がかかるかも」「他の人が嫌がってしまうかも」としっかり考えられたけれど、行動にうつすのは難しかった。
- 給食台の番番をしている友達がいるとき「大変そうだな」と心で考えて、手伝うことができた。これからはきちんと真心で考えて行動にうつしたい。



6年

人権行動目標

お互いを尊重し合い
よりよい関係を
築いていこう

- 友達と話し合いをするときに自分の意見をも言うけれど、相手の主張も聞いてよりよい方向にもっていくために考え、どちらも良い気持ちになれるように行動できた。
- 自分の意見を伝えるときには相手の意見を否定せず「いいと思う。」などの言葉をそえて受け入れた後に「私はね～」と、自分の意見を言うことができた。
- 授業中、ペアと意見の共有をするとき、「なるほど。」「そういう考え方もあったね。」など共感する言葉かけをしたり、相手をうったりすることで、他人の話を聞くときに相手をうつ、よい癖が付き、今までよりも相手の意見を受け入れながら聞けるようになった。



自分を大切に
相手を大切に
みんなが安心できる
学校へ



これからも ともに...